

2025年度 第8回理事会 議事録 2026.2.13

日時：2026年2月13日（金）19：00～21：12

開催方式：対面

場所：事務局

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、遠藤陵晃（副会長）、望月強併（事務局長）、玖島弘規、神田崇央、澤口勇、佐々木秀一、神保洋平、村仲隼一郎、佐藤隼、石川恵美子、佐伯まどか

出席監事：錠内広之、野々垣睦美

欠席理事：奥原孝幸（副会長）、山勢健太郎、佐藤範明、青木啓一郎

I. 会長より挨拶

今回の理事会でも引き続き、次年度の事業計画・予算案について検討を行ってまいります。各部横の連携を考えた事業計画を策定していければと思います。

日本作業療法士協会の第4代会長を務められた杉原素子先生が、2026年2月5日にご逝去されました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

II. 審議事項

1. 部員承認 →賛成多数にて承認

2. 休会承認 →賛成多数にて承認

3. エリア化 令和7年度助成金申請（2件申請）

→2件申請あり。エリア化内で審査。

1件は会員要件・営利性の項目から「不可」

もう1件については、「可」となるが、講師が内部構成員となっており「特定の個人が利益を受けるもの」とならないように注意喚起。

以上の内容で理事審議、賛成多数にてエリア化内での審議内容で承認

4. Webサイト構築パートナー選定について

→スタジオチャージ/Xデザインの2社で検討。

業者のプレゼンテーションを理事内で、集約。

スタジオチャージ社で賛成多数にて承認

III. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 県外査読者 依頼について

査読数増加から2名の県外査読者を依頼

2. 学会支援課マニュアル改定に伴う理事アンケート報告

①学会参加費の基本方針、②運営スタッフ体制、③後援依頼の分担とマニュアル化について理事に意見聴取を行った。以下に意見を踏まえた提案を記載する。

①学会参加費の基本方針

区分	参加費
会員	4,000円
会員ボランティア(半日)	2,000円
他県士会・他職種	5,000円

非会員	8,500 円
学生	1,000 円
学生ボランティア(半日)	無料

学生の参加費については引き続き検討していく。上記金額については賛成多数のため承認された。

②運営スタッフ体制について

無償/有償ボランティアを検討。実行委員自体の位置付けや待遇については引き続き検討していく。

「ボランティア」という名称については変更を検討。

③後援依頼の分担について

学会支援課と事務局が連携し後援依頼の取りまとめを行っていく。方針については賛成多数で承認。

詳細については今後詰めていく。

3. Confit 使用に関するアンケート実施について

Confit の契約が次年度で終了する。今後の業者選定についてアンケートを実施予定。

4. 南関東ブロック合同開催学会発起について

全国的にも各都道府県士会が単独で学会を開催する傍ら、ブロック単位で合同学会の開催を実行している。横のつながりをつくるためにも開催してはどうか。開催に向けて前向きに進めていく。

5. 教育部研修謝金規程に関して

臨床実習指導者講習会謝金規程、MTDLP 指導者謝金規程について提案。現行の謝金規程と照合し、規程を整備していく。

【その他報告部署・理事】

IV. トピックス

1. 2026 年度事業計画・予算案について

事業計画及び予算案については 2 回目の見直しを行った。予算額は¥20,871,690 円であり、1 回目予算額より減額している。事業計画及び予算案について 3 月理事会にて審議予定。

・研修会費用について

理事へのアンケート結果を共有。昨今の物価高や講師謝金を鑑みると全種別増額を検討。金額については三役にて検討し理事会へ提案する。

・県士会ニュース発送回数について

理事へのアンケート結果を共有。2026 年度の発送回数については現状の 3 回を維持する意見が多かった。会員のメールアドレスが聴取できれば配信に変更してもいいのではないかとの意見も聞かれた。2026 年度においては 3 回の発送とする。

・エリア化について

エリア化の方針として、エリア担当理事、エリア長、市区町村窓口、エリアミーティング担当を各エリアに配置する。2026 年度はエリアごとにチームを立ち上げ、運営を開始しエリア運営の課題を抽出する。また現場の運用とエリアごとの地域が抱える課題を抽出することを目的とする。

具体的な活動としては、エリアミーティング・エリア連携推進会議・エリア運営会議を開催する。

V. 連絡事項

1. 総会関連について

総会開催日は 5 月 10 日(日)午後決定。総会までのスケジュールについては配信資料を各自確認。

期末監査は 4 月 4 日(土)実施予定。期日までに監査書類を準備し提出をお願いしたい。

2. 代議員選挙について

Aブロック5名、Bブロック3名不足している。引き続き推薦をお願いしたい。

3. 県民ニーズへの提案会議について

県庁職員に対して MTDLP を活用したセルフマネジメント支援について提案を行った。とても好感を持って話を聞いてくださり、OT の活用について前向きに捉えていた印象。生活支援をキーワードに引き続き提案を行っていく。

VI. 監事より

野々垣監事

エリア化も進んできており広報を積極的に行っていけると良い。別件ではあるが高次脳機能障害関連の法案が可決され、4月から施行される。神奈川は高次脳機能障害への支援が進んでおり更に進めていけると良い。ぜひ情報を収集し支援の輪を広げて行って頂きたい。

錠内監事

会費や研修会費などの増額について検討することはいい事ではあるが、新人の給与や金額に対して実状を踏まえて検討していく必要がある。また団体としての慶弔の付き合いを考える必要がある。個人として対応することはもちろんであるが団体としてどのように対応していくか考えてもらいたい。

以上

文責：玖島弘規

議事録署名人	議長：	神保	武則	印
	理事：	遠藤	陵晃	印
	理事：	村仲	隼一郎	印
	理事：	佐伯	まどか	印
	監事：	野々垣	睦美	印